

基本情報

学校

志布志市立有明中学校

学校運営協議会

有明中学校学校運営協議会

令和元年6月10日 設置

委員構成

協議会役員 10名
○有明・通山校区コミュニティ協議会会長
○保護者・PTA関係者
○市議会議員
○民生委員
○駐在所長

会議回数

年間6回

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働活動推進員1名（1名）

地域コーディネーター 1名（0名）

地域学校協働本部

有明中学校地域学校協働本部

背景・取組概要

有明中学校の学校教育目標は、「豊かな心で、自ら学び考え行動できる生徒の育成」である。そのために、生徒一人一人を大切に、個性の花開く学校、安心安全に過ごせる学校、地域が自慢したくなる学校を目指している。豊かな創造性を備え、持続可能な社会の作り手となるための生きる力の育成と地域と共にある学校づくりを目指し、家庭・地域と連携した教育活動を展開している。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会

諸課題の解決と子供の主体的な活動を支えるために、昨年度は、**委員と生徒会役員の意見交換会**を行っている。協議会委員から「朝のあいさつ運動」「自転車の乗り方」のことについて質問され、生徒会役員がそれぞれに回答する形式で行った。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施

有明校区コミュニティ協議会と連携し、地域学校協働活動として「**中学生クラブ**」という組織を作り、**中学生が中心となって活動**している。その**活動の中心が「こどもまつり」**である。**企画・運営・準備・片付け**までボランティアサポートの支援をいただきながら活動し、実践と経験を積み重ねている。

同じ校区内にある通山校区コミュニティ協議会と連携し、**第3土曜日の青少年育成活動である「亀ん子広場」で中学生の参加を呼び掛け、中学生が中心となり、小学生や地域の方々と一緒に精力的に活動**している。

学校運営協議会の委員は対象者に案内文を渡したり、参加の有無を確認したりして情報発信と広報活動を行っている。

◆有明中学生クラブ「こどもまつり」の取組

4月30日(火)参加依頼
5月11日(土)代表者会
6月 5日(水)開催日及び出店の決定
6月19日(水)看板づくりと価格設定
7月10日(水)チケット作成と在庫管理
7月17日(水)価格決定と担当部署での話し合い
8月 1日(木)マナー指導(接客態度等)
8月10日(土)午前準備 夕方「こどもまつり」
8月11日(日)片付け
8月12日(月)反省会(次年度への引継ぎ)

◆通山亀ん子広場の取組【令和6年度】

5月19日(日)海岸清掃
7月21日(日)日南線遠足
9月21日(土)コスモスロード種まき
10月20日(日)とおリンピック
12月22日(日)餅つき体験
1月19日(日)ウォーキング大会
2月11日(日)グラウンドゴルフ大会



成果・効果

最初は消極的な生徒も行事が進むにつれて責任感が芽生え、主体的に考え行動し、ボランティアサポートと協力して取り組むようになった。次年度の活動に向けて期待している生徒が**75%から83%へ上昇**、活動を通して成就感や自己有用感が**64%から89%へ上昇し**、向上が感じられた。また、保護者は運営スタッフに感謝し、子供が良い経験ができたと喜ぶ声が**92%と多く**、地域と学校が連携・協働する意義や成果を実感する機会となった。これまで地域の方々と交流する場面が少なかったため、**「こどもまつり」を核として交流の輪が広がり、生徒の参画意欲の向上と地域の活性化につながっている**。今後も情報発信と広報活動を継続し、生徒の成長を支える活動に取り組んでいきたい。

